

ノーブルサベージ

札幌発のムーブメントを伝える Adobe® Creative Suite® 4 Design Premium

地域の活性化に期待のかかるフリーマガジン“SCRIPT”の中身とは？



メディアコンテンツ部 編集・企画 曾田 真菜氏 (左)
Webデザイナー 井山 和哉氏 (右)

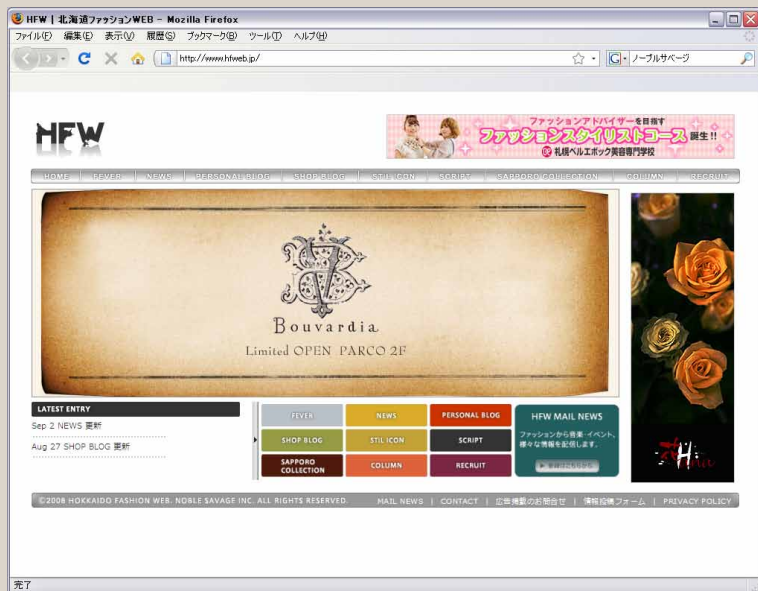
ノーブルサベージは、札幌を拠点としたアパレルショップを運営する傍ら、アパレル専門の人材派遣事業やイベント企画など、ファッションをベースとした多角的な経営を行っている。

その幅広い業務の一端として、同社ではファッション系フリーマガジン“SCRIPT”を発行し、地元産業の活性化に貢献している。

その制作現場で、Adobe Creative Suite 4 Design Premiumは、どのように活用されているのだろうか。



ノーブルサベージが発行するファッション系フリーマガジン“SCRIPT”ファッションのみならず、音楽から映画、インテリアまで、カルチャー系の話題満載の一冊だ。



ノーブルサベージが運営するWebサイト“北海道ファッションWEB(HFW)”
同社が企画するイベント情報やブランド情報など、ファッションに関するさまざまな情報を網羅する。

地下鉄の駅を降りて、メインストリートを5分ほど歩いた繁華街の中にノーブルサベージのオフィスビルはあった。1階と2階には同社が経営するアパレルショップが入り、ファッションビルの3階部分が“SCRIPT”の編集部となっている。

“SCRIPT”は同社が編集・発行するファッション系フリーマガジンだ。昨年3月に創刊され、現在は5冊目となる第4号まで発行されている。

アパレル関連の会社がフリーペーパーを発行することは珍しくない。しかし、SCRIPTはA4フルカラーで、100ページものボリュームを持った堂々たる“雑誌”なのだ。無料でいただくには申し訳ないくらいに豪華な造りだけあって、配布当日には3万部の在庫が一斉になくなるのだそうだ。今回は、SCRIPTを発行する有限会社ノーブルサベージにお伺いし、雑誌編集におけるCS4の利便性を語ってもらった。

メディア・ミックスで地元の産業を活性化させる

本来アパレルショップであるノーブルサベージがどのような経緯でSCRIPTを発行するに至ったのか、まず初めにそのあたりの事情を伺った。

「札幌の街全体に関する情報誌は沢山ありますが、札幌の人たちを対象としたファッション雑誌はありませんでした。ファッションに興味を持っている人は“情報”に対するアンテナが敏感で、当然“雑誌”を好きな人も多く、“無いのなら作ってしまおう”とSCRIPTの発行に繋がっていきました。」と、同雑誌の編集・企画を担当する曾田真菜氏は語る。

多くのフリーマガジンやフリーペーパーがそうであるようにSCRIPTもまた企業からの広告料が主な収入源であるはずだ。しかし、100ページものフルカラーの雑誌を無料で配布して果たして採算が取れるものなのだろうか。

「当社では、よく“ヒト・モノ・コト”と言っているのですが、さまざまな事業や企画を組み合わせることで、業界全体を盛り上げようと考えています。当社は店舗展開型のアパレルショップを始め、イベント企画や人材派遣など、多角的な取り組みを広げるとともに、地域経済の活性化も視野に入れて活動しています。SCRIPTの発行もその事業の一環です。」

InDesignに切り替えたことで、PDFが簡単に作成できようになり、
クライアントチェックの作業が楽になりました。

編集・企画担当 曾田 真菜氏



編集と企画を担当する曾田 真菜氏。札幌に限定しないコンテンツで幅広い読者層をカバーしたいと語る。



InDesignで制作中のスナップショット。札幌在住のモデルを起用することが多いという。

たしかにSCRIPTでは、プロ、アマを問わず、札幌に在住しているモデルを起用していることが多い。これは単に経費を抑えるだけではなく、地元の人を起用することで読者に対して親近感が湧くよう工夫しているためだという。

また、同社では札幌市内に店舗を持つアパレルショップを中心にファッションイベントである“サッポロコレクション”を企画し、成功させるなど、札幌の業界全体を見据えた戦略を採用していることがわかる。

「地方限定のフリーマガジンである以上、札幌に関する話題は外せませんが、映画やインテリア、アートに関するエッセイやコラムを多く採用することで、読者層を限定しないよう気を使っています。」

CASIOとのタイアップでG-SHOCK特集を組むなどして、より多くの人に手に取ってもらえるよう、コンテンツのバランスにはとくに気を使っているのだそう。この他にも同社では、雑誌と並行してWebサイトの運営も行っている。同社の運営する「北海道ファッションWEB (HFWeb)」では、同社が企画するイベントやSCRIPTでの情報をリンクさせ、各ブランドの結合力を高めている。自社のショップだけを盛り上げるのではなく、業界全体を盛り上げようとする同社の取り組みの表れと言えるだろう。

IllustratorからInDesignへの移行

SCRIPTの個性的な表紙からは、デザインに対する強いこだわりを感じ取ることができる。現在では、ほぼすべてのページをInDesign CS4で制作しているが、CS4が導入される以前の創刊準備号と第一号は、Illustratorを利用して制作していたのだそう。InDesignへ移行することで、どのようなメリットがあったのだろうか。

「これまでスタッフの誰もInDesignを使ったことはありませんでしたが、使いながら覚えて行った感じです。インターフェイスが似ているので、InDesignへの移行はさほど難しくはなかったようです。」と、編集を担当する曾田氏は語る。

InDesignに切り替えたことで、これまでFAXなどを通じて行ってきたクライアントへのチェックなどPDFを介して行えるようになったという。同様にWebへの展開も容易になったことで、これまでよりも作業効率が格段に向上したそう。

「CS4ならば、旧バージョンでデータを保存できますから、最新バージョンを持たない外部スタッフとのやり取りにも問題はありませんし、何より動作スピードが向上しているので、ストレスを感じなくなりましたね。」と、Web版を担当するデザイナーの井山氏は語ってくれた。

会社データ

有限会社ノブールサベージ
北海道札幌市

北海道ファッションWEB
<http://www.hfweb.jp/>

チャレンジ

InDesignのデータソースを利用して、PDFやFlashムービーを作成し、複数のメディアに展開

ソリューション

Illustratorを利用したレイアウトからInDesignを使ったデザインワークフローへの転換

ベネフィット

クライアントへのチェックをPDFで行えるようになり、作業効率が向上した

Tool Kit

- Adobe® Creative Suite® 4 Design Premium
- Adobe® InDesign® CS4
- Adobe® Illustrator® CS4
- Adobe® Flash® CS4
- Adobe® Acrobat® CS4
- Adobe® Dreamweaver® CS4



「全体的なパフォーマンスが向上したCS4を気に入っています。」と語るWeb制作担当の井山 和哉氏



SCRIPTのホームページでは、InDesignから書き出したFlashムービーによって、雑誌のダイジェスト版を見ることができる。ページをめくる効果が面白いと好評の様子。

アプリケーション間の互換性が向上したCS4

また、IllustratorによるデザインワークからInDesignへ移行したことで制作後の展開が容易になり、ソースの共有化がより一層進んだという。

「InDesignへ移行したことで、制作後の展開が楽になりました。PDFに展開してクライアントチェックに回すのももちろんのこと、今ではInDesign CS4からサポートされたFlashムービーの書き出し機能を利用して、ダイジェスト版のSCRIPTを作成しています。こちらは実際にSCRIPTのWebサイトで見ることができます。」と、Web版を担当するデザイナーの井山氏は語る。

InDesignからFlashへの書き出しが可能となったことで、これまでDTPの作業が専門だったスタッフがFlashを使う機会が増え、Flashムービーの楽しさを発見したようだ。

「他にもCS4では、アプリケーション間のデータ互換性が向上したように感じます。Illustratorで作成したオブジェクトをFlashにコンバートする場合、以前はIllustratorから一度SWF形式に書き出して、またFlashで読み込むという手順を経っていたのですが、CS4では状態を維持したままコピー&ペーストで行えるようになりました。これだけでも、かなり作業効率が向上していると思います。」と、井山氏は語ってくれた。

いつかは他の地方都市でもSCRIPTを発行したい

この他にもWebを担当する井山氏は、CS4になって機能的に向上した点として、Dreamweaverのレンダリングスピードが速くなった点やFlashにおけるトイーン作成の操作性が良くなった点などを挙げてくれた。

「これからは雑誌メディアを中心としていく考えに変わりはありませんが、Webサイトのさらなる充実化を計りたいと考えています。まずは紙媒体でじっくりと読んでみてもらい、Webでは速報性のある情報を提供することで、両者をうまく使い分けて行けたらいいと思っています。」

雑誌にQRコードを掲載し、Webのアンケートやプレゼントページに誘導させるなど、Webとうまく連携させることが、雑誌を長く続けるために不可欠であるという。

また、現在は札幌地区限定のフリーマガジンだが、いずれは東京や他の地方にも展開させていきたいと語ってくれた。いつの日か東京版や大阪版など、各地方に特化したSCRIPTが読める日が来るかもしれない。

雑誌からWebまで、さまざまなメディアをミックスさせて、周囲を盛り上げてゆくノーブルサページの活躍に今後も期待しよう。